

## 銅板法華經

指定区分	県指定重要文化財(工芸品)
読みかた	どうばんほけきょう
所在地	岡山市北区御津金川 妙覚寺
指定年月日	昭和37年4月3日
解説	縦20.9cm、横18.8cm、厚さ約0.3cm。平安時代の終わりごろに「仏法が失われ厄災の続発する世になる」という末法思想が広まったため、「経塚」が各地で盛んに造営された。この銅板経もそうした世相の中で作られたもので、大分県豊後高田市の長安寺に伝わる保延7年(1141)の経塚遺品のうちの一枚。
アクセス方法	
公開状況	岡山県立博物館にて保管
設備	
備考	